陸上自衛隊高等工科学校
受験案内

JGSDF High Technical School

ここでしか学べない３年間がある。

防衛省・自衛隊
MINISTRY OF DEFENSE

学校概要

1955 年（昭和 30 年）に自衛隊生徒制度が開始され、
生徒教育隊、少年工科学校における教育を経て
2010 年（平成 22 年）に現在の陸上自衛隊高等工科学校が設立されました。
歴史と伝統を受け継ぎつつ最新の教育を取り入れ、
知徳体の調和のとれた人材の育成を行っています。

制度開始以来、19,000 名を超える人材を輩出してきました。
卒業生は、全国の部隊や海外において、
陸上自衛隊の中核として幅広い分野で活躍しています。
中には、防衛大学校へ進学し幹部自衛官として活躍している者や
航空学生へ進みパイロットとして活躍している者もいます。

陸上自衛隊高等工科学校には、
一般の高等学校にはない魅力があふれています。

高等工科学校とは

将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を
駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応
できる自衛官となる者を養成し教育する陸上自衛隊の学校です。

教育理念

技術的な識能を有し、知徳体を兼ね備えた伸展性ある陸上自衛官
としてふさわしい人材を育成する。

校風

明朗濶達　質実剛健　科学精神

01 学校の全景・施設

※建設予定含む

02 魅力と特長

| 01 |

高度なテクノロジー教育

多くのハイテク装備品を保有する陸上自衛隊で、整備・運用の中心となって活躍する専門技術者を育成するため、テクノロジー教育を重視したカリキュラムを設定しています。

| 02 |

充実した待遇

高等工科学校の生徒には、特別職国家公務員として月額 103,700 円の生徒手当と年２回の期末手当が支給されます。他にも、福利厚生等の整った環境で学ぶことができます。

| 03 |

拓ける将来への道

各種技術の専門教育や訓練は、その後の陸上自衛官としての活躍に直結します。他にも、3学年を修了（見込みを含む）すると、防衛省に設置されている学校等（防衛大学校学生・防衛医科大学校学生・航空学生等）の受験が可能です。※1

03 生徒の待遇

身　分	特別職国家公務員（生徒）※自衛官ではありません。	休日・休暇	週休２日制、年末年始休暇、特別休暇等
手　当	生徒手当 月額 103,700 円（令和３年１月現在）※２	医療施設	自衛隊病院、駐屯地医務室
期末手当	年２回（6 月、12 月）	福利厚生	防衛省共済組合 貯金事業／普通・定額積立・定期預金 貸付事業／普通・特別・住宅・財形等
衣 食 住	全員が駐屯地で生活する。宿舎は無料、 食事・被服類・寝具については、支給または貸与。		
卒業資格	提携する通信制高等学校（神奈川県立横浜修悠館高等学校）に入学し、 3 学年修了時に高等学校の卒業資格を取得することもできます。		

※１在学中の一般大学への受験は許可されていません。
※２生徒手当については、法律の改正により改定される場合があります。

教育について

充実した学習環境で、高度な専門知識と逞しさを持つ人材を育成。
質の高い教育内容を通して、識能（スキル）と資質（マインド）を育てます。

充実した教育内容

本校では、普通科高校と同等の教育を行う「**一般教育**」、自衛隊の専門的な技術の教育を行う「**専門教育**」、陸上自衛官として必要な防衛教養や各種訓練を行う「**防衛基礎学**」を主たる教育として実施し、陸上自衛官として将来活躍できる基礎を作ります。

01 一般教育

高等学校学習指導要領に準拠した教育を受けます。

02 専門教育

高機能化、システム化に対応する内容を学びます。

03 防衛基礎学

陸上自衛官として必要な識能及び資質の教育を行います。

その他

クラブ活動、生徒会活動及び各種行事等に参加します。

01

一般教育

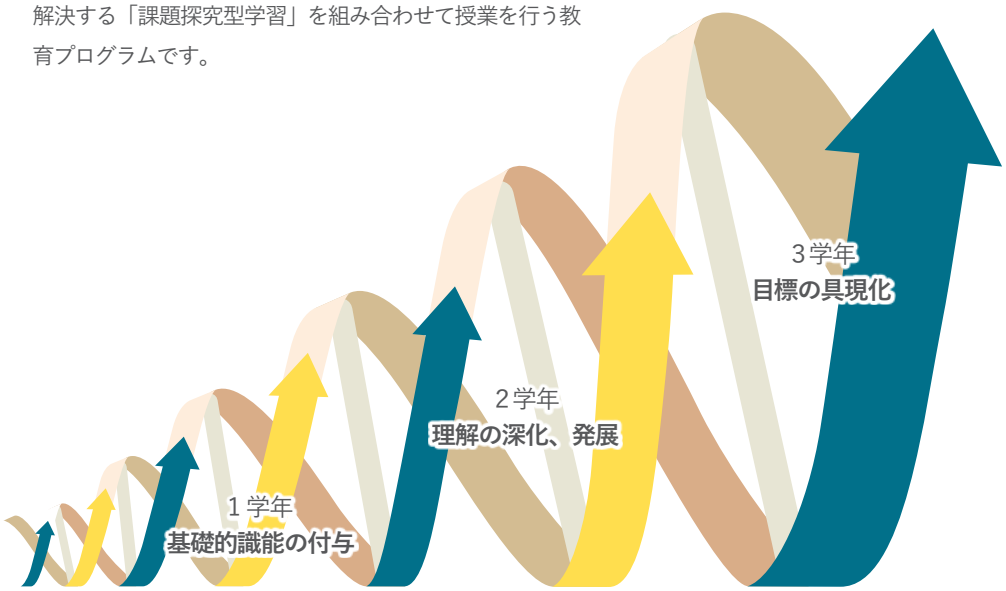
知識と教養の習得

本校では、将来陸上自衛官となる生徒に対し、必要な知識・教養等を習得させるため、神奈川県内の普通科高校と同等の教育（一般教育）を行います。また、3学年修了時には提携校である神奈川県立横浜修悠館高等学校（通信制）の卒業資格を取得することもできます。

一般教育のコンセプト

“DNA”Developmental Neo Action

DNA教育とは、生徒の識能と資質の育成を目指し、知識を得るための「知識習得型学習」と、知識を活用して問題を解決する「課題探究型学習」を組み合わせて授業を行う教育プログラムです。



知識習得型学習

育成する識能（スキル）

- 文化に関する広い知識
- 知的思考力
  （分析、統合、表現、論理）
- 理数的な識能
- 語学力の基礎

課題探究型学習

育成する資質（マインド）

- 心の豊かさ、向上心、創造性
- 充実した体力、気力
- 国家、社会の有為な形成者としての使命の自覚
- 文化、社会とそれを支える営みを尊重する態度

入学生カリキュラム（一般教育）

本校に入学する生徒が３年間に学習する科目です。
また、授業時間以外では、検定や資格取得等にチャレンジするサポートも行っています。

●生徒が主に受験する検定・資格試験等：英語検定／ TOEIC Bridge ／情報処理技術者検定（IT パスポート試験）等

教科	科目	横浜修悠館高校認定科目（必修科目）				高等工科学校独自科目（選択科目）			
		１学年	２学年	３学年	単位合計	教養専修	理数専修	国際専修	システム・サイバー専修
国語	国語総合	4			4				
	現代文 B		2	2	4				
	古典 A		2		2				
	国語表現					2			
社会	世界史 B	3			3				
	日本史 B		2	2	4				
	現代社会	2			2				
	地理歴史総合					2		2	
数学	数学 I	3			3				
	数学 II		4		4				
	数学III					3	4		3
	数学 A	2			2				
	数学 B		2		2				
理科	物理基礎	2			2				
	物理		4		4				
	化学基礎	2			2				
	化学		3		3				
	地学基礎			(2)	(2)				
	生物基礎			(2)	(2)				
	物理化学演習						3		
保健体育	体育	2	3	2	7				
	保健	1	1		2				
芸術	音楽 I	(2)			(2)				
	美術 I	(2)			(2)				
	書道 I	(2)			(2)				
外国語	コミュニケーション英語 I	3			3				
	コミュニケーション英語 II		4		4				
	コミュニケーション英語III			4	4				
	英語会話	2			2				
	英語表現 I		2		2				
	英語表現 II							3	
	時事英語							2	
家庭	家庭基礎	2			2				
情報	社会と情報	2			2				
	情報の科学		2		2				
サイバー基礎									4
総合演習（総合的な探究の時間）			1	2	3				
合計		32	32	14	78	7	7	7	7
			総認定　78 単位					総認定　7 単位	
						総教育　85 単位			

※芸術科目は３科目から１科目を選択します　（参考　令和２年度）
※カリキュラムについては、変更になる場合がございます。

芸術科目　１年次に音楽・美術・書道から１科目選択し､｢自由な発想で楽しく｣をモットーに学びます。書道では、硬筆･毛筆検定の資格取得も目指します。

ALT による授業　一般の高校と同様に外国人講師を授業に招きネイティブの声を聞きながら外国語教育（英語）を行っています。

史跡等研修（修学旅行）　史跡等の見学を通じ、学校で学んだ知識をより深化させ、感性を伸ばします。

コース別教育（3 学年）

3 学年になると必修科目に加えて、生徒はそれぞれの特性・興味、関心に応じて「教養専修コース」「理数専修コース」「国際専修コース」「システム・サイバー専修コース」の 4 つのコースから 1 つを選択します。後期から始まる「総合演習」では、生徒がそれぞれ自由にテーマを設定し、これまでの学習で培った知識や教養を活かし、研究活動を行います。

01 教養専修コース

幅広い知識や教養を身につけ、問題の本質を理解する能力、研究分析する能力、創造的に思考する能力を育成します。文系、理系の枠にとらわれず、3 年間で一般高校の生徒と同等以上の内容を学習します。

重点教育科目

国語表現
数学Ⅲ
地理歴史総合

総合演習

教科に関わらず、自由にテーマを設定し、これまでの学習で培った知識や教養を活かし、研究活動を行います。研究した内容を各自が論文にまとめて、ディベートで発表します。

02 理数専修コース

科学的に探究する能力及び態度を育て、課題を自ら科学的に解決していく力を養成します。3 年間で一般高校の理系生徒と同等以上の数学・理科の内容を学習します。

重点教育科目

数学Ⅲ
物理学特論
化学特論

総合演習

数学や理科に関する研究テーマを自ら設定し、科学的に調査・考察をすすめます。研究した内容について、各自が論文にまとめ、プレゼンテーションを行います。

03 国際専修コース

将来の国際人として必要な語学力、コミュニケーション能力、論理的思考力の基礎を身につけるとともに、諸外国の文化を理解し尊重する態度の育成を目指します。

重点教育科目

英語表現Ⅱ
時事英語
地理歴史総合

総合演習

国際情勢や異文化理解に関する研究テーマを自ら設定し、論理的に考察します。研究した内容について各自が論文にまとめ、プレゼンテーションを行います。

04 システム・サイバー専修コース

プログラミングやシステムオペレーションの基礎を養成し、発展的な数学に関する知識を学ぶことで、将来のシステム・サイバー業務に携わる生徒を育成します。

重点教育科目

数学Ⅲ
サイバー基礎（プログラミング・OS・データベース）

総合演習

数学及び情報工学に関する知識・技術を活用し、データの調査・修正を行います。調査・研究した内容について、プレゼンテーションを行います。

02

専門教育

技術的スペシャリストへの入り口

陸上自衛隊では、高機能化・システム化された多くの車両、通信電子機器、火器及び航空機等を装備してあらゆる任務を遂行します。これらの装備品の能力を発揮させるためには、専門的知識や技能が必要です。そのための教育は、本校における教育と卒業後に行われる教育に大別され、本校においては、将来の技術的スペシャリストとしての素地を身につけるための教育を実施しています。

科目	小科目	教育内容	教育時間
電子機械工学	電子工学基礎	直流回路、磁気と静電気及び交流回路の基礎的事項	261h
	システム技術	電子回路素子、増幅回路基礎、各種増幅回路及び各種電子回路の基礎的事項	
	伝送技術	有線通信及び電波とアンテナの基礎的事項	
	メカトロ技術	機械材料、油圧回路、コンピュータ制御とプログラミング及びコンピュータの制御要領の基礎的事項	
情報工学	情報基礎	コンピュータリテラシーに必要なコンピュータの基礎及びハード・ソフトウェア技術の概要	143h
	ネットワーク基礎	ネットワークの機能・種類、構成に必要な技術及び小規模な LAN の構成要領	
	情報セキュリティ	ネットワークの維持運営上必要なセキュリティに関する技術及び関係法規の概要	
総合実習等	総合実習	総合実習発表会	30h
	職種別教育	電子的分野教育及び機械的分野教育	
合計			434h

01 電子機械工学

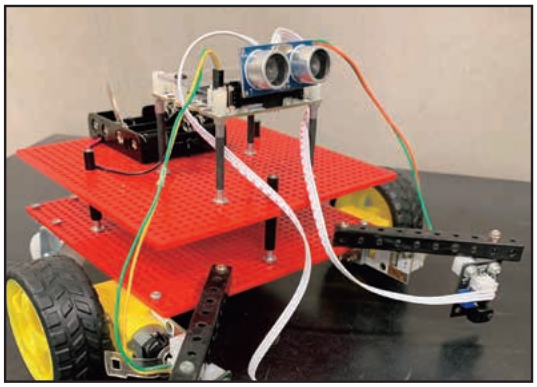
陸上自衛隊の高機能化された装備品に使われている、基本的な技術、特に電気に関する技術と電気通信・電子回路の基礎、機械技術及び電子機械（メカトロ）に関する基礎的な知識と技術を総合的に学びます。知識を覚えるだけでなく自ら判断する力を身につけるために、事象（結果）から原理（理論）を学ぶ、実証型教育を行います。

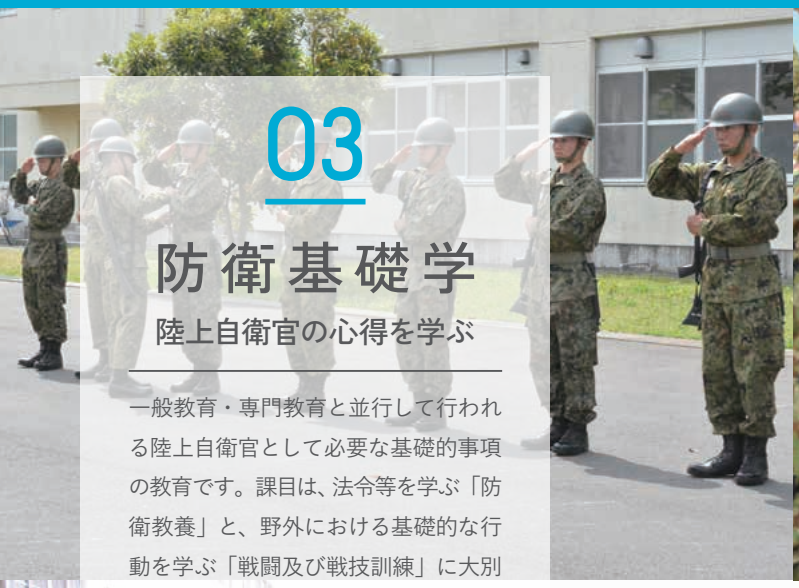
02 情報工学

高機能化された単体の装備品は、システム化され、情報通信機器によってネットワークを構成してその能力を発揮します。現代社会において必須の電子情報技術、ネットワーク技術及び情報セキュリティ等に関する基礎的な知識と技術を総合的に学び、簡単なネットワークの構成を習得します。

ロボット制作等を通じての教育

ラジオ等の電子機器の組み立て、ロボット制御及び自由命題研究等によって、基礎的な技術を学ぶだけでなく、技術者に必要なセンス（論理的な思考力・創造力、発想を現実化する実現力等）を身につけるための教育を行います。将来の技術分野におけるエキスパートを目指すための教育です。



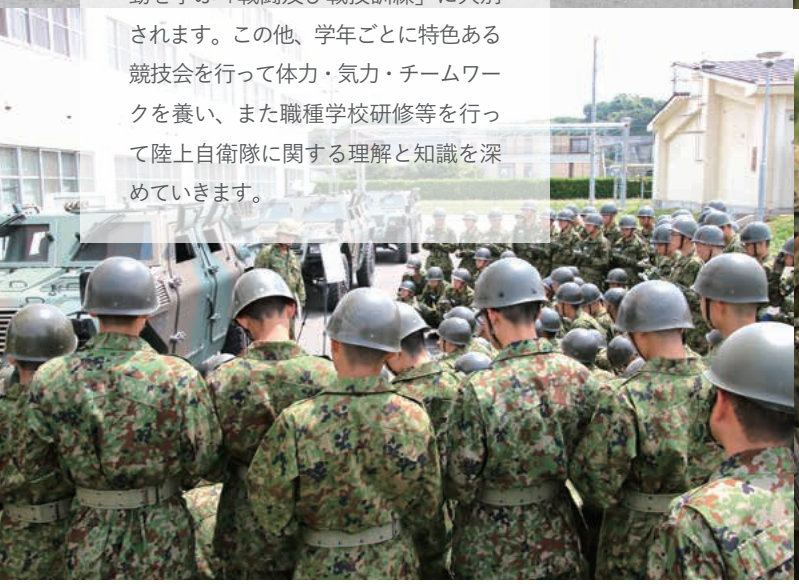


03

防衛基礎学

陸上自衛官の心得を学ぶ

一般教育・専門教育と並行して行われる陸上自衛官として必要な基礎的事項の教育です。課目は、法令等を学ぶ「防衛教養」と、野外における基礎的な行動を学ぶ「戦闘及び戦技訓練」に大別されます。この他、学年ごとに特色ある競技会を行って体力・気力・チームワークを養い、また職種学校研修等を行って陸上自衛隊に関する理解と知識を深めていきます。



		1学年	2学年	3学年	計
防衛教養等	服務等	42h	13h	23h	78h
	防衛法制		6h	2h	8h
戦闘及び戦技訓練	基本教練	20h	32h	18h	70h
	武器訓練・射撃		66h	48h	114h
	戦闘訓練		27h	40h	67h
	野外勤務	12h	10h	44h	66h
	野戦築城			15h	15h
	野外衛生・救急法	6h	2h	2h	10h
	地図の見方		3h	9h	12h
	対特殊武器戦		7h	2h	9h
	通信			11h	11h
	合計	80h	166h	214h	460h
持続走大会・ヘリコプター搭乗等		○			
水泳訓練・持続走大会等			○		
銃剣道大会・職種学校研修等				○	
備考	1学年は、自衛官としての基礎（服務教育・基本教練等）を重視した訓練を、2学年では1学年より多くの時間を配当し、防衛法制の教育、小銃の射撃及び駐屯地内での戦闘訓練を実施します。更に3学年においては演習場において総合的な戦闘訓練・野外勤務訓練等を実施して練度の向上を図る等、1学年から3学年にかけて段階的に教育訓練を実施して陸曹候補者としての素地を確立します。				

| 01 |

広がる、活躍の場

クラブ活動

体力、気力、自律心、チームワーク、情操等を養成するとともに、生徒一人ひとりの適性を伸ばすことを目的としています。いずれのクラブも活発であり、特に体育クラブは各種大会に出場し、好成績を収めています。

特定クラブ

吹奏楽／ドリル／和太鼓／サイバー・コンピュータ

体育クラブ

剣道／柔道／銃剣道／空手道／少林寺拳法／アーチェリー／陸上競技／水泳／野球（軟式）／卓球／ハンドボール／バスケットボール／バレーボール／ラグビー／サッカー／ソフトテニス／レスリング／カヌー／ワンダーフォーゲル

文化クラブ

軽音楽／茶道／吟詠剣詩舞／広報・写真／弁論／英会話／書道／美術／防衛（軍事）研究／鉄道研究／囲碁将棋／科学

和太鼓部

吹奏楽部

ドリル部

剣道部

野球部

サッカー部

レスリング部

カヌー部

茶道部

【過去の主な大会成績】

カヌー部：2019 年文部科学大臣杯日本カヌースプリントジュニア選手権大会 200 mの部カヤックフォア（K-4）決勝進出、2019 年全国高等学校総合体育大会カナディアンペア 500 m（C-2）第 2 位／**レスリング部**:2019 年全国高校生グレコローマン選手権大会 出場、2019 年国民体育大会 グレコローマン 65kg 級 第 5 位／**銃剣道部**：2019 年全国高校生銃剣道大会 個人戦 2 年生の部 優勝、全日本学生銃剣道選手権大会個人戦 優勝／**和太鼓部**：2019 年関東地区高校和太鼓選手権 金賞受賞／**ワンダーフォーゲル部**：2019 年全国高等学校総合体育大会 出場／**科学部**：2019 年全国高校総合文化祭自然科学部門 研究発表参加／**少林寺拳法部**：2018 年全国高校少林寺拳法大会 出場／**柔道部**：金鷲旗高校柔道大会 出場／**陸上競技部**：2017 年全国高校総合体育大会 出場

| 02 |

奉仕の心を育てる

ボランティア活動

本校の生徒は、高校生という立場でありながら「特別職国家公務員」という身分であり、近い将来には「陸上自衛官」としての崇高な使命を負うことになります。まだ 10 代の生徒にそれらのことを強制的に教え込むのではなく、自律心に基づくあらゆる活動を通じて献身・誠実（奉仕する心）という情操を育んでいます。

学校生活

学業だけでなく、生徒舎生活や行事を通して多彩な経験ができます。
仲間とともに過ごす学校生活の中で、強い絆や自律心、協調性、豊かな感受性を育てます。

01 一日の生活

生徒は入校と同時に、全員校内の生徒舎で日課時限に従って規律正しい団体生活を送ることになります。休日は、外出することもできます。

	月～金	土日（休日）
6:00	起床	起床
7:00	朝食	朝食
8:00	朝礼 ●国旗掲揚 午前の授業	
9:00		
10:00		
11:00		
12:00	昼食	昼食
13:00	午後の授業	
14:00		
15:00		
16:00		
17:00	●国旗降下	夕食・入浴
18:00	夕食・入浴	
19:00		
20:00	自習	
21:00		
22:00		
22:30	消灯	消灯

区隊ごとに朝礼を行い、整列して教場へ行進します。

専門の栄養士が成長期の生徒を考慮した食事を作ります。

洗濯やアイロンがけ等、身の回りのことは自分で行います。

自習時間は、自習室で各々の机を使い勉強します。

02 年間行事

年間を通じて行われるさまざまな行事には、生徒全員が参加します。知徳体の伸展や同期の絆を育てることができる多彩な行事で、学校生活をいっそう豊かなものにします。

月	行事内容	1 学年	2 学年	3 学年
4	銃貸与式（写真①）		●	
	入校式（写真②）	●		
	新入生歓迎行事	●	●	●
	ボランティア活動（写真③）		●	●
5	富士総合火力演習研修		●	
	ヘリコプター搭乗研修（写真④）	●		
	職種学校現地訓練（写真⑤）			●
6	前期中間試験	●	●	●
	英語検定試験	●	●	●
7	富士野営訓練（写真⑥）			●
	水泳訓練（校内）（写真⑦）		●	
	夏期休暇	●	●	●
	防衛産業現地訓練			●
9	前期期末試験	●	●	●
	体力検定（3 年）			●
	横浜修悠館高校文化祭		●	
10	学校創立記念行事（開校祭）（写真⑧）	●	●	●
	射撃訓練（写真⑨）			●
	学力試験	●	●	
11	近畿現地訓練（史跡等研修）（写真⑩）		●	
	地域貢献デー（ボランティア活動）	●		
	TOEIC Bridge 試験			●
12	8 の字走大会（写真⑪）	●		
	駅伝走競技会（持続走大会）		●	
	銃剣道大会（写真⑫）			●
	後期中間試験	●	●	●
	市ヶ谷研修	●		
	年末年始休暇	●	●	●
1	鎌倉現地訓練	●		
	体力検定（2 年）		●	
2	体力検定（1 年）	●		
	総合実習発表会（写真⑬）			●
	後期期末試験	●	●	●
3	卒業式（写真⑭）			●

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

※行事については変更になる場合があります。

卒業後の進路

卒業生のほとんどが陸上自衛官の中核として活躍できる等、様々な分野で自分を高めていける道が用意されています。

01 学びが拓く、活躍フィールド

本校卒業後、陸曹候補生課程を経て各部隊へ配属されます。
部隊配置後は、整備部隊等で勤務するとともに、国際貢献など国内外で幅広く活躍します。
また、幹部自衛官を養成する防衛大学校学生やパイロットを養成する航空学生（海・空）等の受験が可能です。
幹部自衛官となった場合は、防衛駐在官になる道もあります。

陸上自衛隊高等工科学校（3年）

→ 陸曹候補者たる自衛官（士長）に任官

｜生徒陸曹候補生課程｜

共通教育・隊付教育

特技教育
- 富士学校（富士）
- 高射学校（下志津）
- 航空学校（霞ヶ浦）
- 施設学校（勝田）
- 通信学校（久里浜）
- 武器学校（土浦）
- 情報学校（富士）
- 需品学校（松戸）

→ 3等陸曹に昇任

｜技術分野における陸曹として勤務｜

主な進路

普通科	指揮統制システム・多目的誘導弾の操作、小銃分隊長
機甲科	戦車の操作、斥候員
野戦特科	レーダーの標定操作等、射撃諸元の算定
高射特科	地対空誘導弾・レーダーの取扱
航空科	航空機発動機（エンジン）、機体計器類の整備
施設科	建設機械の操作・整備、測量その他建設技術
通信科	通信電子器材の操作・整備、各種通信技術
武器科	装軌車両、火砲、各種射撃統制装置、弾薬の修理
化学科	化学器材の取扱
情報科	情報資料の収集・処理、地図・航空写真の配布
需品科	糧食、燃料、需品器材、被服の補給・整備及び回収

試験等合格者 → 防衛大学校学生・防衛医科大学校学生・航空学生等

選抜試験 → 陸曹操縦学生・部内幹部等 → 幹部として勤務

19歳

生徒課程 ｜ 3曹昇任

高等工科学校（3年間）

各方面陸曹教育隊（共通教育）

各職種学校（特技教育）

部隊勤務

- 陸曹（運用、整備部隊）（司令部）→最先任上級曹長
- 操縦学生／ヘリパイロット（幹部）
- 3尉候（幹部）
- 部内幹候（幹部）
- 一般幹候（幹部）

※大学卒業程度の能力

- 防衛大学校 → 幹部
- 防衛医科大学校 → 医官（幹部）
- 海・空自航空学生 → パイロット（幹部）

防衛大学校等への入校（隊）実績

年度	防衛大学校学生		航空学生
	推薦	総合選抜	
2018年	9名	4名	17名
2017年	7名	5名	7名
2016年	6名	8名	12名

02 在校生・父母からのメッセージ

密度の濃い授業、日々励まされた仲間や熱意あふれる職員との出会いは、かけがえのない財産に。

第１教育隊第７区隊
長島 拓夢

輝ける未来の選択

私が高等工科学校を希望した理由は、父が陸上自衛官として働いており、誰よりも早く自衛官になって父のように人の役に立つ仕事をしたいと考えたからです。もちろんそんな私でも、慣れない集団生活や上級生との人間関係に不安を抱いて入校しましたが、それはすぐに解消されました。不安を抱いていた上級生は、丁寧かつ優しい指導により一日も早く環境に慣れるよう善導してくれました。同期も同じように不安を抱えていましたが、一緒に辛さも楽しさも喜びも共有することで、皆で集団生活を楽しんで頑張ることができました。これを読まれている方も色々な不安があると思いますが、ここでしか学べず、ここでしか得ることができないもののために高等工科学校を選択してみてはいかがでしょうか。

第１教育隊第７区隊
長島 拓夢
ご尊母

信じて見守るという選択肢

「やっぱり俺、高等工科学校に入りたい」と、学校見学会から帰宅し、晴れやかに目を輝かせながら告げてきました。そんな息子を見た瞬間、私の迷いも無くなり、夢に向かって歩き出そうとする息子を送り出す決心をしました。もちろん一般高校と違って厳しい部分もあるようですが、全国各地から集まった同期と昼夜を共にし、同じ釜の飯を食べる中で絆を深めている様子を聞いていると、同じ志を持った者同士が支え合いながら成長していることを感じました。息子の夢への道はまだ始まったばかり。頼れる同期とともに夢に近づいていけることを願いながら、親としては帰省時の胃袋を満たすという最大限のサポートをしていきたいと思っています。

第２教育隊２学年
櫻井 朋哉

素晴らしい同期と

元々自衛隊に興味があり、いつか自衛官になりたいと思っていた時に、この学校の存在を知ったことが入校のきっかけです。現在は、課業や部活動で同期と切磋琢磨しながら日々生活しています。入校して１番良かったことは、素晴らしい同期に出会えたことです。全国各地から集まった同期は、それぞれ性格などが違いますが、同じ目標に向かって助け合っています。将来は部隊の指揮官になりたいと思っています。入校志望者の皆さんはとても不安だと思いますが、厳しい生活も苦楽を共にする同期がいるので、きっと乗り越えられます。

第２教育隊２学年
櫻井 朋哉
ご尊母

夢に向かって

小学生のころからなりたがっていた自衛官の道ですが、入校当初、慣れない生活に辛く思うこともあったのか、初めての休暇から帰校する時の駅のホームでの息子の姿は、母として心痛む気持ちで見送っていました。今では、「じゃあ」と元気に帰っていく姿に安心し、たくさんの試練を乗り越えたであろう背中を見て、立派になった息子を心から誇りに思います。これからも乗り越えなければならない壁がたくさんあると思いますが頑張って下さい。心より応援しています。

※学年は取材時のものです。

03 Q & A

Q1 受験にあたって、特別な勉強は必要ですか？

特別な勉強は必要ありません。高校受験の勉強で十分です。

Q2 行事が色々ありますが、保護者が見に行くことは可能ですか？

見学のできる主要行事については、学校からご案内させていただきます。その他の行事等の見学につきましては所属先の職員にご相談ください。

Q3 外出は自由にできますか？

基本的に休日・祝祭日及び休暇として定められた時間の範囲内での外出は可能です。帰校できる時間も考慮し、外出できる地域の範囲が決められています。細部は、入校後ご確認下さい。

Q4 携帯電話は持ち込めますか？

携帯電話の持ち込みは、１年生の間は禁止をしています。２年生から許可を受け、所持する事が出来ます。なお、使用については決められた時間・場所等に限られます。

Q5 私服は着用できますか？

私服は普段の生活において着用することはありません。外出の際は原則制服ですが、２学年から許可を得て私服で外出することができます。ただし、公務による外出については制服になります。

Q6 生活は厳しいですか？

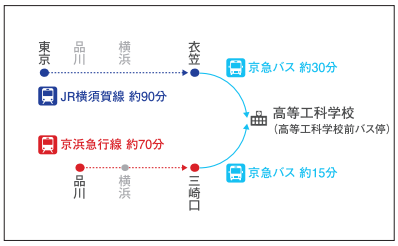
規則正しい生活をするため、厳しいと感じることもあります。しかしながら、それらを同期と乗り越えることにより素晴らしい未来が開けると思います。

交通アクセス

陸上自衛隊 高等工科学校　〒238-0317 神奈川県横須賀市御幸浜２番１号

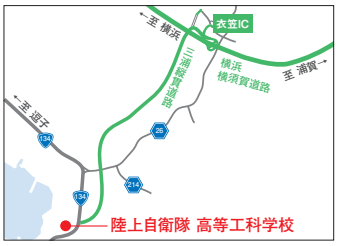
電車をご利用の場合

JR 横須賀線「衣笠駅」、もしくは京浜急行線「三崎口駅」より、京急バスにて「高等工科学校前」バス停で下車。



自動車をご利用の場合

「横浜横須賀道路」衣笠 IC から「三浦縦貫道路」を利用し、終点で降り左折、約 500m 先の１つ目の信号で右折。



キミの明日が、ここにある。

自衛官募集　検索

自衛官募集ホームページ

高等工科学校ホームページ

●お問い合わせは下記の自衛隊地方協力本部へ